## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業	業名	母子健康	教育相談指導事業		ŀ	会計 款 項 目 大事 小事   01 04 01 01 03 01
政	策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山(市民福祉の充実)	主管課	健康	増進課
施	策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	主管課長	伊原	理香

## 事務事業の日的・内容

	<b>尹</b> 7刀:	<u> </u>		
事業目的	対象	流山市民の妊産婦及び親子	意図	妊娠・出産・育児までの一貫した健康教育及び相談指導により、健康の増進と育児不安の軽減を図る。
事業	内容	ナー又は子育てや子どもの教	教育に 旨導を	のない支援を行うための各教室等の開催。妊婦やそのパート 不安のある保護者に対して、各専門職(保健師、助産師、栄 行う。また、健康教育については思春期(高校生)までを対 た内容を実施する。
ら現在	見始か Eまで	るために土曜日開催を始め、 6回と開催回数を増やしていなく各専門職による相談を	平成 いる。 実施。	た両親学級(ハローベイビー)は共働き夫婦のニーズに応え 26年度は3回、平成27年度は4回、平成28年度以降は 育児相談では就学前までの幅広い年齢を対象に、計測だけで また、栄養、歯科指導については離乳食教室、むし歯予防教 象にした食育や歯科保健教育も実施している。

_ <u>I</u> 事	務	事業の実績・現状及	<u>び成果を</u>	表す指	漂の動き	_ع	コスト	·の状況
		名 称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
	1	開催回数	3, 495	4, 338	4, 638	旦	777	
	2	利用者数	12, 857	13, 998	14, 935	人	777	
指標	3	対象者数	13, 303	14, 204	15, 340	人	111	6 歳未満人口+妊娠届出者数
	4	全健康教育相談事業の利 用率	96. 60	98. 50	97. 40	%	111	利用者/対象者(6歳未満+妊娠届 出)×100
	5							
	6							
指標で表 とができ		各事業において希望者 <sup>3</sup> をしている。また参加					基づく	二対する現状(客観的事実・データに 現在の状況や取組状況)
定性的な	成果	し、その後のフォローに					人口增	加に伴い参加者が多い状況が続
事務事	<b>業</b> (	Dコスト   平成28年度	平成2	9年度	平成30年	度	いてま	らり、利用者数(指標②)は前年

事務事業の総コスト(a=b+c) 5, 341, 094 7, 177, 428 事業費(b)(円) 7, 177, 428 5, 341, 094 うち一般財源 5, 341, 094 7, 177, 428 職員給与費(c)(円) 人役・職員(人) 人役·再任用(人) 人役·臨職(人) 15.00 人役•嘱託(人) 初期投資コスト(円) (建設又は取得年度のみ記入)

(建設又は取得年度のみ記入)

46,252,995 著しかった事業としては、両親学級が 8,455,555 82人、離乳食教室初期は181人、 8,455,555 保育所等歯みがき指導が257人で 37,797,440 より妊娠期から乳幼児期の対象者が増 3.50 加していることが考えられる。

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>  $\blacksquare$ 

## (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

( <u>r</u> ) <u>-</u> 101							
		今後の必要性	A 必要性が高まると 考えられる	有効性	目標達成度	A	達成できた
個別評価	必要性	市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	Α	対象者は適切である
		日本会の中国	A III/MIE / 10	劝华江	コストの削減	A	削減の余地はない
総合評価	Ⅲ要	改善 (事業	は継続するが、更なる改	(善が必)	要)		

## 事務事業の業務改善について

(年)

想定耐用年数

①H30当 初の改善 計画 (Plan)	「妊娠・出産・子育てサポート事業」 と母子健康教育相談指導事業との連携 を引き続き進める。
②H30に 実施した 取組(Do)	おおたかの森市民窓口センターの開設 に伴い、母子手帳発行時の専門職の面 談率を向上させ、支援が必要な対象者 に、早期から支援を開始する。

③取組に おける課 題 (Check)	両親学級等をはじめ、参加者が多い現 状を踏まえ、多くの市民が参加できる よう、開催方法、回数、内容の見直し が必要とする事業があるため改善を図 る。
	より多くの参加希望者を受け入れるた
会課題に対する今後	より多くの参加希望者を受け入れるため、各種事業の実施内容等の見直しを
する今後	
する今後 (H31~)の 改善計画	め、各種事業の実施内容等の見直しを